Begleiten 112



会報に関する連絡先

E-mail: info@begleiten.org TEL: 090-9146-6667 (関根まで)

2020.2.15

【巻頭言】 知恵を出し合い、力を合わせて歩んでいきませんか

ベグライテン代表世話人 関根和彦

2020年最初の会報ですので、昨年から今年にかけてのベグライテンの活動を振り返り、今後の活動について書かせていただこうと思います。

まず、みなさまもお気づきになっておられると思いますが、一昨年から昨年にかけて、ベグライテンをめぐる環境が激変いたしました。

2010年代を通じ、ベグライテンは上智大学の教室 をお借りして講演会などを行ってきましたが、これ は大橋容一郎先生をはじめとする哲学科が共催し てくださっていたからでした。ところが、一昨年5 月哲学科の体制が変わり、哲学科の共催が得られな くなってしまったので、今度は島薗進先生のご配慮 によりいろいろなかたちを取りながら上智大学の 教室を借りていたのですが、昨年の3月以後はこれ もなかなか難しいことになってしまいました。島薗 先生がいろいろな方法を考えて、事務方と折衝して くださったのですが、もともと保守的な教授たちや 事務方が、学内の内規を厳しく適用してくるので、 とうとう特殊な場合を除いては上智大学教室を借 りることができなくなってしまいました。このため、 例会はなんとか継続できたのですが、ケアと公共の セミナーについては、ほとんど開催ができなくなり ました。

昨年の後半以後、世話人たちの尽力やキリスト教 関係者のお口添えもあって、公共系の施設や上智大 学以外のキリスト教系の施設を借りることができ るようになり、ようやく毎月の例会とセミナーを安 定的に行うことができるようになってきたところです。ご参加のみなさま、会場のご確認を忘れずにお願いいたします。

もうひとつは、2020年度から、上智大学のコミュニティ・カレッジ(コミカレ)が閉鎖されてしまうことです。上智大学のコミカレは、伝統のある語学講座を中心に、魅力のある一般社会人向けの教養実務講座として運営されてきたのですが、毎年のように文教予算を減らし、経営合理化を求める文科行政のもと、上智大学としては高額な受講料を期待できる現役社会人の再教育路線に転換したのだと思われます。

ベグライテンは、教養実務講座の「人間らしく生きる」(コーディネーター:大橋容一郎先生)と「人権とケア」(コーディネーター:原敬子先生)にかかわりを持ち、支援しておりましたので、大きな活動分野を失うことになります。もっか他大学にケアと公共を学べる市民講座とよべるような講座がないか、あるいは上記の2講座のような講座を受け入れてくださるような大学がないか、調査、打診をしているところです。

このようにベグライテンをめぐる環境は、急速に 悪化してきているのですが、ベグライテンとしては 「ケアと公共を学ぶ市民の会」という基本路線を曲 げることなく、今後とも「私たちは、ケアの哲学と 公共哲学を学び、身につければ、一人ひとりが豊か に個性を開き、発展させることができる社会を築く ことができると考えています。」を合言葉に、活動を 展開して行きたいと考えています。

これまでベグライテンは、公共面では、いわゆる アベノミクスのもとで進められる大企業中心主義、 非正規労働、福祉切り込み・切り捨て、海外派兵、 憲法改悪推進などに反対し、国民(市民・個人)中心 主義、格差解消、福祉増進、平和主義・平和外交の 推進を掲げて、学びを進めてきましたが、今後はこ れらと併せて、ケアの学びに関心を持つ人たちが寄 り添っている少数者、社会的弱者、被差別者の尊厳 の問題にも目を向け、学びの機会を増やしていきた いと考えています。

ケアの学びについては、これまでケアとは何かという哲学的な問いを中心に据えて学んでまいりましたが、今後は人生のライフステージごとに表れる典型的な問題を、具体的に取り上げるかたちで、ケアの学びを深め、その問題をどのように解決していくのかを考えるなかで、公共的な学びとつなげていきたいと考えています。

12月・1月がん研有明病院緩和ケア訪問(大林初実)/

学んだものをどのように生かしていくかという 意味でも、ベグライテンは優れた伝統を持っている と思います。昨年は、ベグライテンをめぐる環境の 悪化に対処することに勢力を注がなくてはならな かったため、この面で取り組みが弱まってしまった と思いますので、今年はまた気分を新たにして取り 組んでいきたいと考えています。

ベグライテンは、昨年後半から新しい世話人が増えつつあり、この方たちとともに上記の方針で活動を進めていきたいと考えているのですが、会報読者のみなさまにも、この活動にお力添えくださいますよう、訴えたいと思います。

「市民の、市民による、市民のための学びの場をつくりませんか?」 「知恵を出し合い、力を合わせて、 歩んでいきませんか?」

(大谷尚子・岡山輝明)

く目 次>

上智大学コミュニティカレッジ「人権とケア」身近にある差別や人権侵害にどう向き合えば良いのか

◆開催のご案内◆

◇ベグライテン2月公共例会◇

本当の脅威と本当の解決とは何か? ~混迷する世界で考える日本の針路~

【日時】2月22日(土)14:00~16:30 (開場30分前) 【講師】柳澤協二 先生

(元内閣官房副長官補・国際地政学研究所理事長) 【略歴】東京大学法学部卒。防衛庁に入庁し運用局長、 防衛研究所長などをへて、2004~2009 年内閣官房副長 官補(安全保障・危機管理担当)。現在、国際地政学研 究所理事長、自衛隊を活かす:21 世紀の憲法と防衛を 考える会代表。

【主な著書】『官邸のイラク戦争』(2013 岩波書店)・『亡国の安保政策―安倍政権と「積極的平和主義」の 罠』(2014年4月25日、岩波書店)・『自分で考える集団的自衛権――若者と国家』(2014年10月17日、青灯社)・『亡国の集団的自衛権』(2015年2月17日、集英社新書)・『憲法カフェで語ろう・9条・自衛隊・加憲』(2018かもがわ出版)

<講師からのメッセージ>

私は70歳を超えました。同年代の方々は、20年前までは平和を実感していたと思います。しかし今は、そうではない。世界に目を転じても、戦争や人権の危機、他者を排斥する動き、社会の分断が進んでいます。どの国も、どの人々も不満を抱えているようです。誰にとっても思い通りにはならない世界です。今年も、米国とイランの戦争の危機から幕を開けました。一体、世界はどうなってしまったのか、その中でわれわれ日本人は、何を拠り所に生きていくのか、一緒に考えたいと思います。

【会場】雑司が谷地域文化創造館 第4会議室

https://www.toshima-

mirai.or.jp/center/e_zoshigaya/

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷 3-1-7 千登世橋教育文化センター1 階・地階

TEL 03-3590-1253

東京メトロ副都心線雑司が谷駅下車 2番出口上 JR 山手線目白駅下車 徒歩約10分 都電荒川線鬼子母神前駅下車 徒歩約2分 都バス千登世橋バス停下車 徒歩約1分

【参加費】1000円(学生、障害者・生保者は、500円) (終了後、講師を囲んで懇親会を予定しています。 各自が飲食した分を、お支払いいただきます。)

【申込】不要。 * どなたでも参加できます 【問合せ・連絡先】 関根和彦 090-9146-6667

E-mail k_sekine@f7.dion.ne.jp

【主催】ベグライテン HP http://begleiten.org/
FB https://www.facebook.com/begleiten2

◇ベグライテン3月例会◇ 花の谷クリニックにおける 緩和ケアの歩み

緩和医療はどこに向かおうとしているのか?

【日時】3月22日(日) 14:00~16:30

【講師】伊藤真美 先生(花の谷クリニック院長)

【略歴】日本内科学会認定内科専門医。日本緩和医療学会認定医。1984年信州大学医学部卒業。佼正病院、都立駒込病院化学療法科、自治医科大学血液科勤務を経て、1989年、インドのGujarat Ayurveda Universityに留学。1990年、米国のCalvary Hospitalで研修。1991年から亀田総合病院血液内科に勤務。1995年、有床診療所「花の谷クリニック」を開設。2013年9月に「スープのよろずや『花』」を開店。

【主な著書】『しっかりしてよ!介護保険』2000 年 3 月草思社、『生きるための緩和医療』2008 年 7 月医学 書院。

<講師からのメッセージ>

1980 年代に医師になり、35 年が過ぎようとしている。日本でホスピスがはじまり、緩和医療という分野が確立されてきた時代である。そして、財源問題を理由に、医療・介護・福祉の公共サービスは縮小され、自己負担額が年々増額されてきた時代でもある。

この数年、医療費を気にして、患者さんから費用を 聞かれることが多くなった。また、進行がんであって も治る可能性がでてきた。がん治療の大きな進歩がも たらされた時代になった一方で、治療選択の自己決定 がいくらか困難な状況にある進行がんの患者さんが、 その可能性を知らされることもないまま、緩和医療を 希望されたとのことで花の谷クリニックに紹介され てくることの、なんと多いことか。

いのちが軽んじられる現実を実感する当院での 日々から、緩和医療の変遷を報告させていただき、求 められる医療のあり方を、皆さまとともに考えたいと 思う。

【会場】築地社会教育会館 4F 視聴覚室

〒104-0045 中央区築地 4-15-1 03-3542-4801 地下鉄 都営浅草線 営団日比谷線 東銀座駅(徒歩 5 分) 都営大江戸線 築地市場駅(徒歩 5 分)

https://chuo-shakyo.shopro.co.jp/tsukiji

【参加費】1000円(学生、障害者・生保者は、500円) (終了後、講師を囲んで懇親会を予定しています。 各自が飲食した分を、お支払いいただきます。) 【申込方法】氏名(ふりがな)、〒、住所、電話、携帯、 メールアドレスを記入し、次の方法でお申込みください。

・フォーマットによる申し込み:

https://forms.gle/ffbC384bPsBRtYR98





○Fax による申込み 050-3737-2636 後藤哲男 あて ※いただいた個人情報は、名簿化して訪問先に提出す るほか、本訪問に必要な連絡に使用します。それ以外 の目的に使用することはありません。

◎急用で来られなくなった場合は、必ず下記にご連絡 ください。

【問合せ・連絡先】 関根和彦 090-9146-6667

E-mail k_sekine@f7.dion.ne.jp

【主催】ベグライテンHP http://begleiten.org/
FB https://www.facebook.com/begleiten2

◇ケアの哲学セミナー◇

ケアの人間学 ~いのちを紡ぐ・ひとをつなぐ~ 〈やさしさ〉の地平

~ケアの根底を見つめる~

【日時】3月1日(日) 14:00~16:30 【講師】﨑川 修 先生

(ノートルダム清心女子大学 准教授)

【略歴】1971年東京生まれ。上智大学大学院哲学研究科博士後期課程満期退学。2009年上智大学常勤嘱託講師(キリスト教人間学)。2013年より現職。専門は現代哲学、人間学、キリスト教倫理。

【著書】共著書に『心とは何か』(北大路書房)、『ニヒリズムとの対話』(晃洋書房)、『教養としての応用倫理学』(丸善出版)、『ケアを生きる私たち』(大学教育出版)など。2020年3月に単著『他者と沈黙』(晃洋書房)を刊行予定。apan(共著)など。

<講師からのメッセージ>

ケアの営みは、限りあるいのちを生きる私たち人間が、その「弱さ」ゆえに与えられた豊かな可能性です。 しかし、私たち一人ひとりが、ケアを見つめ、引き受けていかなければ、その豊かさは容易に損なわれ、見失われてしまうでしょう。これまでの講座では、「ケアとは何か」という根本的な問いを大切にしながら、人生の様々な場面に即して、いったいどのような「ケアの姿勢」が私たちの生(いのち=くらし)をつなぎ、支えていくのかを、様々な角度からご一緒に考えてきました。

今回は年度の締めくくりとして、ケアの本質を学びなおしながら、「やさしさ」というキーワードから、現代の難しい社会状況の中で、ケアの力に求められている役割とともに、ケアに特有の「難しさ」を見つめたいと思います。ケアの持つ「やさしい」イメージは、決して間違ったものではありませんが、やさしさゆえ

に抱え込まれる苦悩をどうやってときほぐし、乗り越えていけるのかは、とても重要な問題です。ドストエフスキーの小説や聖書の言葉、共依存の問題などを通じて、ご一緒に考えていきたいと思います。

* 当日はプリント資料を配布する予定です

【会場】援助修道会 本部修道院 リヒト宣教室

新宿区市谷田町 2-24 TEL 03-3269-2405 JR「市ヶ谷駅」 徒歩 10 分、 地下鉄南北線・ 有楽町線「市ヶ谷駅」5 番出口 徒歩 3 分 http://auxi.japon.com/access/

*下図をご参照ください

【参加費】自由献金制です。

*終了後、講師を囲んで懇親会を予定しています 各自が飲食した分を、お支払いいただきます

【申込不要】どなたでも参加できます!

【問合せ】携帯 TEL 090-9146-6667 (関根まで) mail k_sekine@f7.dion.ne.jp

【主催】ベグライテン

HP: http://begleiten.org/

FB: https://ja-jp.facebook.com/begleiten2/

果尔観光専門字校 5谷鷹匠町 援助修道会 ● 靖國会館 輸田学園中高 市谷左内町 靖国神社 🖥 東京アニメセンター in DNP PLAZA 大妻女 東京家政学院中高 🖾 市ケ谷・一 東郷元帥 記念公園 大妻中高 二七河山 五番町 西町文人通り 武蔵野大附千代田高等

◇公共哲学セミナー◇

思想家と歴史に学ぶ公共性の哲学 第2回

「カントに見る平和と友好性の思想」 戦争とは何か、

平和に必要な公共性とはどんなものなのか

【日時】3月29日(日) 14:00~16:30

【講師】大橋容一郎先生

(上智大学教授・放送大学客員教授)

【略歴】1952年2月東京都生まれ。上智大学大学院哲学研究科から同大学助手・講師・准教授。2000年から上智大学文学部教授。ミュンヘン哲学単科大学客員研究員、上智大学哲学科長、文学部長等をへて現在に至る。元上智大学グリーフケア研究所副所長。この間、東京大学、早稲田大学、慶応義塾大学等で講師。2019年4月から放送大学客員教授。日本カント協会会長。

【業績】『カント全集』(岩波書店)、『フィヒテ全集』(哲書房)、『広辞苑第7版』(岩波書店)、『世界人名大辞典』(岩波書店)、『哲学思想事典』(岩波書店)、『哲学の歴史』(中央公論新社)など多数の全集・辞書を監

修。カント哲学・近世現代哲学・ ケアと身体の哲学・近代日本思想 などに関する学術論文多数。

【最近の記事】岩波書店『思想』 で近代日本哲学思想について連載 中。理想社『理想』で20世紀初頭 のドイツ哲学監修。

<講師からのメッセージ>

公共性はつねに近代哲学思想の中核をなす問題だった。さまざまな歴史的現実のなかで、公共性はあるときには人格の尊厳、またあるときには市民の権利、国家や民族の同一性などとして扱われ、その意味するところはけっして一つではない。時代の変化のスピードが加速している現代社会だが、その変転に振り回されることなく、歴史と思想家たちが語ってきたことをふり返り、日本と世界におけるわれわれの公共性がこれから向かうべき途について、ともにじっくりと考えてみたい。

<連続講座・内容一覧(予定)>

- ・第1回(終了) 「天皇の人間宣言と文化主義に見る 反戦平和の思想」:かつて日本人が意図した平和の思 想はなぜ挫折しているのか
- ・第3回 「グローバリゼーションにおける公共性の問題」: 現代のグローバリゼーションは公共性をどう変えたか
- ・第4回 「新旧教育基本法における公共の福祉と公益の原理」:個人の人格の尊厳は公共的にはどう実現されるべきか
- ・第5回 「アーレントとハーバーマスに見る公共的市民の原理」: 公共的市民の立場とはどんなものか

【会場】雑司が谷地域文化創造館 B1 第4会議室

https://www.toshima-

mirai.or.jp/center/e_zoshigaya/

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷 3-1-7 千登世橋教育文化センター1 階・地階

TEL 03-3590-1253

東京メトロ副都心線「雑司が谷駅」2番出口上

JR 山手線目白駅下車 徒歩約 10 分 都電荒川線鬼子母神前駅下車 徒歩約 2 分 都バス千登世橋バス停下車 徒歩約 1 分

【参加費】1000円(学生、障害者・生保者は、500円) (終了後、講師を囲んで懇親会を予定しています。 各自が飲食した分を、お支払いいただきます。)

【申込】不要。

*どなたでも参加できます

【問合せ・連絡先】 関根和彦 090-9146-6667

【主催】ベグライテン

http://begleiten.org/

https://www.facebook.com/begleiten2

◇憲法カフェ@四ツ谷◇

(第3期 第16回)

東アジア経済共同体構想について 考えてみませんか? アメリカからユーラシアへ

1991年にソ連が崩壊し、ベルリンの壁が崩れて、東西冷戦が終結。唯一の超大国となったアメリカですが、その一方で中国が台頭し、アメリカの覇権が大きく揺らぎ、今やトランプ氏の登場で、アメリカは保護貿易政策を採っています。そして、経済面でアメリカから大きく支えられ、その恩恵を受けてきた国々、特に中国には厳しい姿勢で臨んでいます。

現在、トランプ氏は中国に対して貿易収支不均衡の 改善を厳しく要求していますが、その鉾先は早晩、日本にも向かってくるのではないでしょうか。アメリカ は日本による為替介入を法的に阻止する一方で、日本 との貿易収支の不均衡がなかなか改善されない場合 には、アメリカが一方的に為替カードを切ってくる可 能性も否定できません。かつてのプラザ合意(1985年) が思い出されます。

ならば、日本が生き残る道は、この際、アメリカとの関係を思い切ってリセットし、新たな経済圏の構築をロシア・中国をも含めたユーラシア大陸に求める。 歴史的に見ても、今は「海の国」から「陸の国」への大きな転換点ではないでしょうか。

皆さんは、どうお考えになりますか?

【日時】2月27日(木)18:30~21:00

【会場】東京法律事務所 1 階会議室 TEL 03-3355-0611 【アクセス】JR 四谷駅・四谷口前

(しんみち通り入口横のファミリーマートの隣)

http://www.tokyolaw.gr.jp/about/location.html

* 次ページの地図をご参照ください

【提題者】岸 松江 弁護士(東京法律事務所)

【⇒ 人】明担も立 と) / ぶがこ ノニ、川ざ Li

【司 会】関根和彦 さん(ベグライテン世話人)



【参加費】1人500円+印刷代(100円程度)

*飲み物は各自持参してください

【連絡/問合せ先】大塩 mail veu03273@nifty.ne.jp 関根 携帯 TEL 090-9146-6667

【主催】ベグライテン HP http://begleiten.org/
FB https://www.facebook.com/begleiten2

◇施設訪問 見学会◇

『暮らしネット・えん』

あなたは、ご自分のために、あるいはご両親のために、どのような老後の住まいを用意しようとしておられますか? 少子高齢化が進み、女性の就業率が高くなるにつれ、女性はもちろん、男性にとっても、考えておかなければならない大切な問題になっています。

暮らしネット・えんは、「高齢になっても障がいがあっても、おとなも子どもも共に生きる地域社会を創ることを目的に」、小島美里さんなど地域の女性たちが中心になり、訪問介護、小規模多機能居宅事業、グループリビングなどを営んでいる埼玉県新座市の NPO 法人です。

このような施設を作りたい、働きたい、ボランティアしたいと思っておられる方にも、必見の施設・法人です。自分、家族、地域に安心の輪を広げる活動を展開している小島さんから直接お話を伺い、介護や活動

の現場を見ながら、介護・福祉・安心を感じるひと時 をともにしたいと思います。参加を希望される方は、 下記によりお申し込みください。先着順です。

【日時】2月23日(日) 13:30~16:00

【訪問先】暮らしネット・えん

http://npoenn.com/publics/index/2/

埼玉県新座市石神 2-1-4 (堀之内病院の近くです)

【集合場所】西武池袋線 東久留米駅 東口

タクシー乗り場付近

*行き方:タクシーに乗合で行きます。自家用車等で、直接行かれる方はその旨ご連絡ください。

■集合時間 1:13:30 集合

■集合時間 2:12:30 集合 ■ お勧めです。 ↓暮らしネット・えん内にある、「だれでも食堂」で

食事をすることができます。

【**定**員】20 名 参加費 500 円

【申込方法】氏名(ふりがな)、〒、住所、電話、携帯、 メールアドレスを記入し、次の方法でお申込みください。

・フォーマットによる申し込み:

http://forms.gle/d5PMfm3SymMUq3Nx7



- ○Fax による申込み 050-3737-2636 後藤哲男 あて ※いただいた個人情報は、名簿化して訪問先に提出 するほか、本訪問に必要な連絡に使用します。それ 以外の目的に使用することはありません。
- ◎急用で来られなくなった場合は、必ず下記にご連絡 ください。

【問合せ・連絡先】 関根和彦 090-9146-6667

mail k sekine@f7.dion.ne.jp

【主催】ベグライテン HP http://begleiten.org/

FB https://www.facebook.com/begleiten2

◆その他のイベントの開催予定◆

◇生と死を考える会◇

死別体験者の分かち合いの会

大切な人を亡くした方が集い、率直に気持を分かち合う場です。生と死を考える会発足のときから、休みなく続いています。テーマや指導者を設けず、話したい方、聞きたい方、それぞれ自由にご参加ください。 【日時】毎月

第1 土曜日 14:00~17:00

(自死により大切な人を亡くされた方の集まりです)

第2金曜日 14:00~17:00

(主としてお子さんを亡くされた方の集まりです)

第3 火曜日 18:30~20:30

(さまざまな体験の方の集まりです)

第3 土曜日 17:00~19:00

(20 代から 30 代の世代の集まりです)

第4 土曜日 14:00~17:00

(さまざまな体験の方の集まりです)

【会場】 生と死を考える会

http://www.seitosi.org

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 1-8-11

東京 YWCA 会館 2 階 214 号室

TEL 03-5577-3935 FAX 03-5577-3934

【参加費】 一般 1000 円 会員 500 円

【**備考**】 予約は必要ありませんが、開始時間には遅れないようにお越しください。

◇東京多摩いのちの電話◇

「自殺予防いのちの電話」公開講座 「名もなき支援が人を支える」

https://www.tamainochi.com/index.asp

【講師】湯浅 誠 氏

(社会活動家。東京大学先端科学技術センター特任

教授。全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長)

【日時】2月15日(土)14:00~16:00 (開場 13:30)

【会場】くにたち市民芸術小ホール

国立市富士見台 2-48-1 (TEL 042-574-1515)

https://kuzaidan.or.jp/hall/access/

【参加費】無料(先着 270 名) * 託児・手話通訳あり 【申込】事前申込が必要です。

https://www.tamainochi.com/index.asp?patten_cd=
8&page_no=117

【問合先】TEL 042-328-4441 (月~金 10:00~17:00)

【主催】認定 NPO 法人 東京多摩いのちの電話

【後援】青梅市、清瀬市、国立市、小金井市、国分寺市、小平市、立川市、多摩市、調布市、西東京市、府中市

◇真生会館講座◇

2月15日以降

【受講料】各回 1000 円、学生は無料

【申込・問合せ】一般財団法人真生会館

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 33 番地 4

TEL: 03-3351-7121 FAX: 03-3358-9700

E-mail:gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp

http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp

|I.現代人の生き方、社会を考える|

土曜日 13:30~15:30

http://www.catholic-

shinseikaikan.or.jp/cms/wp-

content/uploads/2019/12/2001_01_3.pdf

「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人に したのは、わたしにしてくれたことなのである。」 (マタイ 25-40) わたしたち一人ひとりのいのちは、 人間らしく幸せになるために生かされています。 今、他者を受け入れる寛容さは失われ、自分のこと で精一杯の状況が溢れています。障害を持つ人や外 国人労働者、少数派の人たち等、社会的に弱い立場 に追いやられる人たちを顧み、共感し合う心が弱く なっています。多様性を認め合い、誰もが希望を持 って光を見出すことは出来るのでしょうか。今回は 社会のシステムを問い直すことと、人々が生きる現 場での声を聞くことを通して探っていきます。

*2月29日:「自分自身で、ともに」

~べてるの家の活動と当事者研究~

【講師】向谷地 宣明(NPO法人 BASE 代表理事・

コミュニティホームべてぶくろ)

*3月14日: <あんたの足で、歩いてみよう1マイル> 【講師】浜 矩子

(同志社大学大学院ビジネス研究科教授)

| I . 現代人の生き方、社会を考える|

土曜日 10:30~12:00

心の病と向き合う

http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp/cms/wp-content/uploads/2019/12/2001_02.pdf

人と人との関係が織りなすかで、息苦しくなったり、力が出ない等心身ともに不調を感じることがあります。どのように考え、対処していったらよいのでしょうか? ケースを通し、皆様と一緒に研鑽してまいりましょう。

*2月15日、3月7日、3月21日

【講師】鳥越由美

(北里大学大学院非常勤講師・神田東クリニック)

Ⅲ. キリスト教文化、教養(音楽・読書・話し方……)

火曜日 18:30~20:00

Cantiamo insieme 日本の歌曲からオペラまで ともに歌おう

http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp/cms/wp-content/uploads/2019/12/2001_08.pdf

歌は心を癒し、日常のストレスを忘れさせます。声 を合わせて一緒に歌ってみませんか? *2月25日、3月10日、3月24日

【講師】遠藤久美子(声楽家)

Ⅲ. キリスト教文化、教養(音楽・読書・話し方……)

木曜日 13:30~15:30

読書会

3月19日: 課題図書 『絶望の底で夢を見る』(石井 光太著・徳間文庫)

【講師】森 一弘(真生会館理事長)

Ⅲ. キリスト教文化、教養(音楽・読書・話し方……)

土曜日 10:00~13:00

映画に学ぶ

http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp/cms/wp-content/uploads/2019/12/2001_11.pdf

人間の罪 ・ 欲望 ・ 暴力がもたらす闇の深さ、そ して周りの人に与える苦しみと悲しみ、それを理解 し、包み込んでいく人間の心の力強さを学ぶ

2月22日:「教誨師」(日本)

死刑囚6人との会話が始まる

3月28日:「パウロ ~ 愛と赦しの物語~」(米国) 使徒パウロの生涯を描いた作品

【講師】森 一弘(真生会館理事長)・

アシスタント清水京子(聖パウロ女子修道会)

Ⅲ. キリスト教文化、教養(音楽・読書・話し方……)|

2月15日 土曜日 13:30~15:30

遠藤周作を読む会

http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp/cms/wp-content/uploads/2019/12/2001_12.pdf

【『沈黙』への道、『沈黙』からの道 - 遠藤文学を読み解く】をキリスト新聞に連載した、金 承哲さんが講師です。

- 1. 遠藤周作の多様なジャンルの作品を読む。
- 2. 絶版されていない作品を優先的に選定する。
- 3. 必要な情報を提供しながら、参加者間で自由な話し合いが出来るようにする。

『侍』慶長遣欧使節団を率いた地方武士の支倉常長 の人生を基にして、遠藤周作は長谷倉六右衛門とい う侍の一生を物語る『侍』(1980年)を書いた。彼は、太平洋を横断し、ノベスパニヤを経てキリスト教の総本山のローマまで行く。思いもよらなかったこの壮絶な旅は、侍の人生に消すことのできぬ痕跡を残した。『侍』は、その侍の旅の痕跡を追いかける遠藤の魂の記録である。侍は、非自発的に洗礼を受け、一生その洗礼の痕跡を追跡していた遠藤自身の自画像だったのである。

【講師】金 承哲(南山大学人文学部・教授)

◇辺野古の海を土砂で埋めるな! 首都圏連絡会◇ 辺野古を埋めるなキャンペーン

「設計変更」許さない! 辺野古新基地つくらせない! キャンペーン

2月16日(日)~2月25日(火)

共同の行動でアピールしよう!!

<新宿アクション>#0216 辺野古を埋めるな 新宿デモ

【日時】2月16日(日)13:00~

情報宣伝 新宿駅周辺

(西口・南口、新宿三丁目交差点)

*天候などで移動する場合あり

14:00~ アピール:アルタ前 15:00~ デモ 駅周辺 https://transit.yahoo.co.jp/station/top/22741/

<防衛省アクション>#0225 辺野古を埋めるな 防衛省前 【日時】2月25日(火)18:30~ 防衛省正門前

https://www.mod.go.jp/j/profile/mod_sdf/access.
html

★☆★政府が沖縄県へ設計変更申請したときには、その翌日午後6時30分から防衛省へ抗議します☆★☆ <地域で、駅前で、さまざまな場でアピールしよう> キャンペーンに参加していただける団体・個人はぜひ ご連絡ください。期間外でも結構です。

- ◎リーフレット (更新予定)
- ◎プラカード(コンビニ印刷)や漫画を企画中!
- ◎横断幕(データのみ)
- ◎のぼり旗

思い思いに工夫しよう!利用してください

共通のハッシュタグでつながろう。SNS に投稿して ください

沖縄・辺野古への新たな米軍基地建設の埋め立てが、1年たっても埋め立て土砂全量の1%しか進んでいません。政府・防衛省は、できる見込みのない工事に、最低でも工期があと12年、工費も当初見込みの3倍の約9300億円(2兆5千億円という試算も)かかることを認めています。税金をジャブジャブ湯水のごとく使う工事は直ちに中止すべきです。

ところが防衛省は、政府側の人間が半数を占める「有識者」を集めた技術検討会を設置、大浦湾側に広がる「マヨネーズ並み」といわれる軟弱地盤の改良が可能だという「お墨付き」を得ようとしています。同検討会の委員3人には、辺野古関連工事業者から計570万円が「奨学寄附金」という名目で渡されました。これで公正な判断が出来るのでしょうか?

防衛省は年度内にも設計変更を申請しようとしていますが、沖縄県・玉城知事は受け入れないとしています。

沖縄の民意を踏みにじり、実現が見込めない無謀な 設計変更を許さない声を広くあげていきましょう。 チラシはこちらから↓

http://www7b.biglobe.ne.jp/~okinawakoza/200216-25bill.pdf

【主催】辺野古の海を土砂で埋めるな!首都圏連絡会 https://henokoumeruna2018.exblog.jp

【連絡先】辺野古への基地建設を許さない実行委員会 (沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック)

TEL 090-3910-4140

平和を実現するキリスト者ネット

TEL&FAX 03-3813-2885

辺野古・高江を守ろう!NGO ネットワーク

mail henokotakaengo@gmail.com

◇第 53 回「19 日行動」

http://sogakari.com/?p=4504

嘘とごまかしの政治は許さない!

官邸の検察人事介入糾弾!

自衛隊は中東沖から撤退せよ!

安倍 9 条改憲発議 NO! 安倍政権退陣!

2.19 国会議員会館前行動

*LED ライト等の光り物をお持ちならご持参ください

【日時】2月19日(水)18:30~

【場所】衆議院第2議員会館前を中心に

【共催】戦争させない・9条壊すな!

総がかり行動実行委員会

安倍9条改憲 NO! 全国市民アクション

◇つくろい東京ファンド◇ 潮路(しおじ)書房オープン記念 若松英輔さん連続トークイベント

貧困への無関心を越えて 第2回 対談:若松英輔さん×吉水岳彦さん

生活困窮者への居住支援に取り組む「つくろい東京ファンド」が、カフェ潮(しお)の路(みち)を開店して、まもなく3年。このたび、カフェ1階のスペースに小さな古書店、潮路(しおじ)書房がオープンしました。潮路書房は、「本」を通して「人」を知る本屋にしていきたいと考えています。

潮路書房のオープンを記念して、批評家の若松英輔さんをお招きした連続トークイベントを開催いたします。2回目は山谷地域でホームレス支援の活動をされている浄土宗僧侶の吉水岳彦さん(ひとさじの会)と若松さんの対談。日本社会に広がる「貧困への無関心」をどう乗り越えていくかを考えていきます。

事前予約は不要。自由献金制でお願いします(古本のご寄付も歓迎です)。ぜひご参加ください。

【日時】2月27日(木)19:00~21:00 (開場30分前) 【対談者】若松英輔さん×吉水岳彦さん 進行:稲葉剛(つくろい東京ファンド代表理事)

【場所】 カトリック徳田教会 信徒ホール

東京都練馬区豊玉中1-39-1 徳田保育園隣。

https://catholic-tokuden.jp/index.php/contact

【主催】 一般社団法人つくろい東京ファンド

【問合せ】TEL 090-6159-8787 (稲葉)

Mail info@tsukuroi.tokyo

【協賛】カトリック徳田教会

◇3・1 朝鮮独立運動 101 周年◇

2. 28 東京集会・2. 29 キャンドルアクション

http://sogakari.com/?p=4508

◆2.28 屋内集会

【日時】2月28日(金)18:30~(開場18:00)

【会場】文京区民センター3A

(地下鉄「春日」or「後楽園」下車すぐ)

http://www.yu-cho-f.jp/wp-

content/uploads/kumin_map.pdf

【プログラム】

映像 3・1 朝鮮独立運動とは

講演「東アジアの共有財産としての韓国大法院

『徴用工裁判判決』」

吉澤文寿さん(新潟国際情報大学教授)

韓国ゲスト

「朝鮮半島情勢と日韓関係をどう見ているか」 韓国・安倍糾弾市民行動代表

(韓国の700の市民団体で作られた共同行動組織)

ル トカムわで呼ばら

♪みんなで歌おう ノレの会ほか

【資料代】800円

◆2.29 キャンドルアクション

【日時】2月29日(土) 18:00~

【場所】 新宿東口・アルタ前広場

【プログラム】

リレートーク

徴用工問題・「慰安婦」問題・朝鮮学校差別問題・ 在沖米軍基地問題

憲法改悪問題 ほか

*のぼり・プラカード・ペンライトなどご持参歓迎!

【呼びかけ】

今年の3月1日は、日本からの独立を求め朝鮮半島全土で人びとが立ち上がった3・1独立運動(1919年)から101周年を迎えます。あらためて歴史を直視しながら日本と朝鮮半島やアジアの人々との平和な関係をいかに築くのかを問い直す日でもあります。

●朝鮮半島の非核・平和と日本の責任

朝鮮半島では、日本からの解放と同時にもたらされた南北分断から75年。朝鮮戦争の停戦協定からも67年が経過しましたが、いまだ戦争の終結はなされていません。これこそが朝鮮半島の「危機」の根源です。

南北首脳による板門店宣言、史上初の米朝首脳会談は、朝鮮戦争の終結と朝鮮半島の平和体制・非核化へ向かう歴史的転機をもたらしましたが、段階的解決を無視した米国の一方的要求により、こう着状態のまま重大な岐路を迎えています。

この間、対話の流れの「蚊帳(かや)の外」から妨害者として振る舞っているのが安倍政権です。

「北朝鮮の脅威」を煽り、それを口実に大軍拡と 「戦争のできる国」づくりを進め、また韓国大法院 の元徴用工判決をめぐっても、個人請求権の存在を 認めてきた従来の日本政府自身の見解すら無視し、 あからさまな非難を繰り返して輸出規制などの対韓 報復さえ行っています。

今なお植民地主義を清算せず加害責任に背を向け、改憲・軍事大国化に向けた暴走を続ける安倍政治を一刻も早く終わらせることが必要です。

●3・1 朝鮮独立運動 101 周年行動に集まろう!

昨年、私たちは3・1 朝鮮独立運動100周年キャンペーンに取り組んできましたが、今年も3・1 朝鮮独立運動101周年の共同行動として、平和を求める朝鮮半島の人びとと連帯し、2・28集会と2・29キャンドル行動に取り組みます。多くの皆様の参加を呼びかけます。

【3・1独立運動とは】

1919年3月1日、日本の植民地下のソウルで宗教 指導者らを中心に独立宣言書が発せられました。こ の日、ソウルのパコダ公園(現タプコル公園)には数 千人の青年学生らが集まり市内をデモ行進、「独立万歳」の叫びに市民も合流、数万人のデモに発展しました。この動きは朝鮮半島全土に波及し、200万人の人たちが起ちあがったといわれています。

しかし、平和的なデモに立ち上がった人々に日本 軍・官憲は武力弾圧を加え、死者約7千5百人、負 傷者約1万6千人、逮捕・拘束者は4万6千人に達 したとされていますが、日本ではこの事実は隠蔽・ 歪曲され「朝鮮人の反日暴動」と広く流布されまし た。これが関東大震災時(1923年)の朝鮮人大虐殺の 伏線にもなっています。

3・1 独立運動に象徴される朝鮮半島の人たちの独立・解放への血のにじむ闘いは連綿と受け継がれ、この間の韓国におけるキャンドル革命の源流ともいわれています。

私たちは歴史の真実を踏まえ、3・1 独立運動 101 周年にあらためて日本市民の良心の声を朝鮮半島と 世界の人々に発信していきたいと思います。

【主催】「3・1 朝鮮独立運動」日本ネットワーク (旧 100 周年キャンペーン)

【連絡先(順不同)】日韓民衆連帯全国ネットワーク (070-6997-2546)/ピースボート(03-3363-7561)/日朝協会(03-3237-1991)/子どもと教科書全国ネット 21 (03-3265-7606)/「戦争と女性への暴力」リサーチ・アクションセンター(VAWW RAC)(03-3818-5903)/在日韓国民主統一連合(03-3862-6881)/小川町企画(03-3818-6671)

【協賛】戦争させない・9 条壊すな!総がかり行動実 行委員会

◇児童虐待・子どもへの暴力防止フォーラム◇

https://www.mcfund.or.jp/news/2020/000957.html

このフォーラムでは、児童虐待防止活動に取組む採択団体の活動報告と有識者によるご講演・ディスカッションを通して、参加者の皆様と児童虐待の現状や課題について考え、虐待防止への意識を高めていただくことを目的として開催します。

皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

【日時】2月29日(土)13:30~17:15

【プログラム】受付開始(13:00~)

主催者挨拶(13:30~)

第1部:児童虐待防止などに取り組む NPO からの活

動報告

第2部:児童虐待防止に関わる有識者からの講演

第3部: ディスカッション・質疑応答・まとめ

・報告団体

NPO 法人 北海道 CAP をすすめる会 あいづ CAP

NPO 法人 子ども・人権ネット CAP・にいがた NPO 法人 ぎふ多胎ネット

HEALTHY FAMILY はままつ

NPO 法人 ワーカーズ・コレクティブ ちろりん村

・講演者

吉田恒雄氏

(NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク理事長) 高祖常子氏

(NPO 法人子どもすこやかサポートネット副代表理事) 高橋亜美氏(アフターケア相談所 ゆずりは所長) 木村里美氏(一般社団法人 J-CAPTA チーフディレクター)

・コーディネーター

川北秀人氏(IIHOE [人と組織と地球のための国際 研究所]代表者)

【会場】TKP 御茶ノ水カンファレンスセンターホール 2A (千代田区神田駿河台 4-3 新お茶の水ビルディング) https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-

ochanomizu/

【定員】100名(先着順。定員になり次第、締切ります) 【参加費】無料

【申込および詳細】

https://www.mcfund.or.jp/news/2020/000957.html

【主催】

NPO 法人モバイル・コミュニケーション・ファンド

◇東京男女平等条例ネットワーク◇

第36回集会

「性暴力がなぜ無罪になるのか!」 ~刑事司法における性差別と不正義~

2019年4月、名古屋地裁岡崎支部で、実の父親が当時未成年だった娘に何年にもわたって性的虐待を続けてきた事件に対して無罪判決が下されました。

性暴力に対する無罪判決は他の事例でも見られ、これらのあり得ない判決が現行の法律に基づいて出されたものであることに驚きます。

法改正を視野に入れ、なぜこのような判例が出されるのか、ご一緒に学びましょう。

【講師】後藤弘子さん(千葉大学大学院教授刑事法)

【日時】3月3日(火)18:30~20:30

【会場】東京ウィメンズプラザ 第2会議室(2階)

http://www1.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/

渋谷区神宮前 5-53-67 TEL 03-5467-1711

- ・JR・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ副都 心線 「渋谷駅」宮益坂口から徒歩 12 分
- ・銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」B2 出口 から徒歩7分

【参加費】500円 (会場費・資料代)

*申込 & 問合せ:我妻 agatsuma@sepia.ocn.ne.jp 料の準備の都合上、なるべく事前にご連絡ください

【主催】東京男女平等条例ネットワーク

◇横浜いのちの電話・春の映画会◇

「日々是好日」

http://www.yind.jp/concert.html

横浜いのちの電話は、24時間休まず人々の悩みや不安を聴いています。その活動を支えるための催しです。

* 支援会手作り品バザー同時開催

【日時】2020年3月5日(木)(開場は各30分前)

1回目11:00 2回目14:30 3回目18:30

*公式サイト https://www.nichinichimovie.jp/

【会場】戸塚区文化センター さくらプラザ ホール

https://totsuka.hall-info.jp/access/

横浜市戸塚区戸塚町 16 番地 17 戸塚区総合庁舎内 TEL 045-866-2501 FAX 045-866-2502

【参加費】前売り 1,000 円 当日 1,200 円 全席自由 *チケットは、さくらプラザ窓口でも購入できます

【問合せ・申込】社会福祉法人横浜いのちの電話 事務局 TEL 045(333)6163(月~金 9:00~17:00) FAX 045 (333) 5683 (24 時間対応 2/20 まで)

◇止めよう辺野古新基地建設! 辺野古裁判勝利! 3.6 首都圏集会◇

http://sogakari.com/?p=4516

【日時】3月6日(金)18:30~20:30 (開場 18:00)

【会場】日本教育会館大ホール

東京都千代田区一ツ橋2-6-2

https://johokiko.co.jp/access/kyoiku/

【参加費】800円

【プログラム】

映像メッセージ シルビア・アール (海洋生物学者) ※辺野古・大浦湾が日本初のホープスポットに 認定されたことについて

連帯メッセージ 玉城デニー (沖縄県知事)

講演 金平茂紀 (ジャーナリスト)

山城博治(沖縄平和運動センター議長ほか

【共催】「止めよう!辺野古埋立て」

国会包囲実行委員会

戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会

【連絡先】

沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 090-3910-4140

沖縄意見広告運動

03-6382-6537

ピースボート

03-3363-7561

戦争をさせない 1000 人委員会

03-3526-2920

9条壊すな!実行委員会 03-3221-4668

憲法共同センター

03-5842-5611

防衛省は、2018年の12月と2019年の3月に沖縄県

民の民意を踏みにじり、辺野古の浅瀬側の2つの工区 へ土砂の投入を強行しました。1年以上が経過しまし たが、土砂投入量は全体のわずか 1%です。県民の不 屈の闘いで工事は全然進んでいません。

さらに、大浦湾側に広がる、海面下 70m から 90m の マヨネーズ並みの超軟弱地盤での工事は、世界にも例 のない、超難関工事で技術的にも不可能だと言われて います。

防衛省は昨年の12月25日に、当初の5年の工期を 9年3か月、費用を3500億円から9300億円とするこ とを公表しました。これにとどまる保障はまったくあ りません。沖縄県の試算では、2兆5千億円かかると のことです。国民の税金を見通しのない工事に湯水の ように使うことは許されません。

軟弱地盤の改良工事のためには玉城県知事の許可 が必要ですが、知事は絶対に許可しません。このよう に辺野古新基地建設は、技術的にも政治的にも完全に 行き詰っています。

沖縄県は辺野古新基地建設を止めるために、「防衛 省が国民の権利救済の法律である行政不服審査法を 濫用し、国土交通相が県の埋立承認の撤回を取り消し たのは違法である」として2つの裁判を提訴していま す。裁判所は昨年の10月に、防衛省が一般私人と同じ く同法を使うことが出来るとの前代未聞の不当判決 を下しました。県は最高裁に上告しています。もうひ とつの裁判においては、沖縄県による埋め立て承認撤 回の適法性、正統性が初めて争点となります。

防衛省は、近いうちに沖縄県に軟弱地盤の改良工事 の設計変更を行う方針です。辺野古新基地建設を許さ ない闘いは新たな局面に入ります。

私たちは、沖縄県民の不屈の闘いに連帯し、市民と 野党の共闘をさらに強めて、政府に辺野古新基地建設 の断念を迫る大きな声をあげていこうと集会を開催 します。多くの皆さんの参加を呼びかけます。

◇朝日カルチャーセンター新宿教室

社会哲学の可能性 現代の政治哲学、経済哲学、歴史哲学

https://www.asahiculture.jp/course/shinjuku/519 f45fe-37a7-3574-985a-5da6ae359fea

【講師】山脇 直司先生(東京大学名誉教授)

<講師から>21世紀も20年経ち、国内外とも混迷の度合いを強めている。そうしたなかで要請される政治哲学、経済哲学、歴史哲学はどのような内容になるだろうか? 講義では、過去の思想的遺産を踏まえつつ、それらの可能性を探ってみたい。(講師・記)

第1回 政治哲学の可能性

<スケジュール>

立憲主義と民主主義、政治権力の正統性、政治とメ ディア、正義論はどこまで有効か?

第2回 経済哲学の可能性

福祉国家論の変遷、経済政策の担い手と市民社会論、 経済における価値論の復権

第3回 歴史哲学の可能性

進歩史観からの決別、個人の歴史性とマクロの歴 史(解釈学の意義)、公共的記憶と歴史記述

【日時】2020年1月10日(金)、2月7日(金)、 2020年3月6日(金) 19:00~20:30

*講座終了後に講師との懇親会も開いております 【受講料(税込)】会員 9,900 円 一般 11,880 円 【その他】教室は10 階と11 階の変更もあります。当 日の案内表示をご確認ください。

*単発でもご受講できますが、その際は、事務窓口での申込みとなりますので、朝日カルチャーセンター新宿教室の受付にご相談のほどお願いいたします。

◇レイバーネット 2020 総会・ 特別講演◇

特別講演:未来への大分岐 一資本主義をこえる社会像へのアプローチー

http://www.labornetjp.org/EventItem/15801038815 42staff01 【日時】2020年3月7日(土)13:30~17:00

〔第一部〕総会(13:00 開場) 13:30~14:45活動報告・財政報告・討論など

*どなたでも参加できます

〔第二部〕15:00~17:00

記念講演=斎藤幸平(大阪市立大学准教授) 未来への大分岐

- 資本主義をこえる社会像へのアプローチー

【会場】スペースたんぽぽ(JR 水道橋 10 分) 千代田区三崎町 2-6-2 ダイナミックビル 4F

【参加費】500円

「私たちは大量絶滅の始まりにいます。それなのにあなたたちが話しているのは、お金のことと、経済発展がいつまでも続くというおとぎ話ばかり。恥ずかしくないんでしょうか!」。2019年9月23日、16歳グレタさんの国連で怒りのスピーチは世界に衝撃を与えた。金もうけが野放しの新自由主義時代が30年も続き、世界はいま「1%対99%」の超格差社会になった。また気候変動は生態系の崩壊をもたらし、私たちは経済危機と環境危機の真っ只中にいる。いったいこれからどうしたらいいのだろうか。そんな折、2019年秋に発刊されたのが『未来への大分岐ー資本主義の終わりか、人間の終焉か?』(集英社新書)で、大きな反響を呼んでいる。

編者は新進気鋭の経済学者、斎藤幸平さんで、世界の著名な知識人であるマルクス・ガブリエル、マイケル・ハート、ポール・メイソンの各氏にインタビューした本である。うたい文句は「世界最高峰の知性たちが若き俊英とともに描く、危機の時代の羅針盤!」。斎藤さんは「環境危機は、資本主義の決定的問題点を、くっきりと見せてくれる。環境危機こそが、生産のあり方を大きく変え、ポストキャピタリズムへの道を切り拓く契機になりうる」と語っている。また資本主義をのりこえ「自由、平等、連帯、民主主義」に価値を置く社会システムを実現するために、大きなスケールで徹底した思考が必要だと強調している。

そんな斎藤幸平さんが今年のレイバーネット総会のゲストに決まった。2001年に発足したレイバーネッ

トは今年で満 20 年の節目の年。斎藤さんのメイン報告を受けて、今後の運動の方向性を一緒に考えてみたい。題して「未来への大分岐-資本主義をこえる社会像へのアプローチ」。進行は対話方式で行う。聞き手は柴田武男さんで、韓国の「環境・労働政策」に詳しい白石孝さんも助言者として加わる。当日は、午後3時から午後5時までのたっぷり2時間をとった。さあ、あなたも大ディスカッションに加わってください。

【主催・連絡先】レイバーネット日本

TEL 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578 Mail labornetjp@nifty.com

◇千葉いのちの電話・公開講演会◇

「心を元気にする4つのステップ」

日々のストレスに上手に対処し、 本来持っている心の力をいかす方法

https://www.chiba-inochi.jp/events/

【講師】大野 裕氏(精神科医、

一般社団法人 認知行動療法研修開発センター理事長)

【日時】2020年3月8日(日)13:30~15:30

(受付13:00~)

【会場】佐倉市音楽ホール (定員 500 名)

http://www.city.sakura.lg.jp/0000006566.html

千葉県佐倉市王子台一丁目 16 番地

TEL 043-461-6221

【参加費】無料(先着順)

【申込】事前申込が必要です。

*無料対面相談 実施します……困っていること、 心の痛み ここで話してみませんか……

講演終了後4名様に対面相談を致します。

要申込 (千葉いのちの電話事務局までお電話を)

【問合せ・申込】千葉いのちの電話事務局

(月~金9:00~17:00 祝日休)

TEL 043-222-4322 FAX 043-227-6911

Mail 11-chiba@chiba-inochi.jp

【主催】佐倉市健康増進課、

社会福祉法人千葉いのちの電話

◇井上智洋×島倉原対談会◇

MMT(現代貨幣理論)とは何か

2019 年 12 月に、奇しくも同じタイトルの書籍『MMT (現代貨幣理論)とは何か』を出版された井上智洋先生と島倉原先生による夢の MMT 対談会がここに実現!

拡張的な財政政策を主張されている点では共通するも、少し異なる経済観を持ち、これまで交わる機会がなかったお二人に、MMT (現代貨幣理論)の議論を踏まえながら、対談を行っていただくイベントです。主催・司会進行は池戸万作が務めさせていただきます。

【日時】3月8日(日)13:30~16:30 (開場 13:10)

【会場】入谷ホール

東京都台東区入谷 1-27-4 プラーズ入谷 2 階 東京メトロ日比谷線「入谷」駅より徒歩 3 分 JR 山手線「鶯谷」駅より徒歩 10 分

【参加費】2,000円

* 当日受付にて受取いたします (お釣りのないようにお願いします)

【定員】80名

【申込】下記のエントリーフォームよりお申込みください。

https://ws.formzu.net/fgen/S83396460/

* 当日参加は、参加者多数の場合にはお断りしますので、予め参加のお申込みをお願いします

【内容】13:30~14:10 井上智洋先生講演

14:15~14:55 島倉原先生講演

15:10~16:10 井上智洋先生×島倉原先生

対談会(司会:池戸万作)

16:15~16:30 質疑応答

講演会終了後、お二人の先生を交えた懇親会(会費 4,000円程度)を予定しております。親睦会の参加不 参加はエントリーフォームにてご回答ください。

(入谷駅周辺、または上野駅周辺を予定しています)

◇★0308 原発ゼロ☆国会前大集会◇

-福島・輝く未来へ-

http://coalitionagainstnukes.jp/?p=13559

福島原発事故から9年・3.11 追悼 -原発廃炉時代・再エネ社会の実現に向けて 再稼働反対! 原発ゼロ政権の誕生を!

【日時】3月8日(日)14:00~16:00

【場所】国会正門前(南庭側)

*国会正門前のみで官邸前での抗議はありません

2011年3月11日、未曾有の大震災が東日本を襲い、 とりわけ東北地方の被災地は悲惨を極めました。お亡 くなりになられた皆さまに、9度目の追悼の意を表し 黙祷を捧げます。私たちが決して忘れてはならないこ とは、地震と津波という自然災害による被害のほかに、 福島原発事故という「人災」が発生したことです。地 震と津波による被災地は復興することができますが、 原発事故で拡散された放射能に汚染された地域では、 人が住めなくなりました。

原発事故から9年の歳月が経ちますが、いまだに避難中の人々が大勢おり、故郷に戻ることをあきらめ移住した人々も数え切れません。また、原発事故は収束できず廃炉への工程は遅れに遅れており、原発から発生するトリチウム汚染水の処理方法も決まらないままです。今年、2011年に発令された『原子力緊急事態宣言』がいまだに解除されない中で東京五輪が開催されますが、このような状況の中、何をもって『復興五輪』と言えるのでしょうか。

福島原発事故で多くの有権者が原発の危険性を理解し、脱原発が圧倒的な世論になってきました。海外でも脱原発に舵を切る国、日本の原発輸出を断る国もでてきました。その流れに逆行し、安倍政権は民主党政権時の脱原発路線を反故にし原発を推進していますが、その理由は明快で、一部の既得権益者のためなのです。安倍首相に寄り添う総理秘書官、影の総理と言われる原発推進の本丸、今井尚哉氏が既得権益者のために画策・暗躍しているのです。

しかし、原発産業は立ち行かなくなってきています。 原発がなくても電気は足りるし、政府の政策障害に阻 まれていますが、再生可能エネルギーは十分なポテン シャルを持っていることがわかってきています。昨年 来日したローマ教皇は、人々の善なる声を代弁しまし た。非常識な安倍政権には退陣いただき、原発事故から 10 年になるまでに、原発ゼロ政策が実現するように尽くしていきましょう。脱原発が実現してこそ、福島が真に復興し、輝くのです。

【登壇者】〈敬称略〉

<福島から>

●鈴木薫 (認定 NPO 法人 いわき放射能市民測定室 たらちね @tarachineiwaki・事務局長)

<有識者・著名人>〈50 音順〉

- ●今中哲二 (原子力安全研究グループ/京都大学)
- ●小熊英二 @quikion (社会学者)
- ●落合恵子(作家/クレヨンハウス主宰)
- ●鎌田慧 (ルポライター/さようなら原発 1000 万人 アクション・呼びかけ人)
- ●菅直人 @NaotoKan (衆議院議員/元内閣総理大臣)
- ●古賀茂明 @kogashigeaki (元経産官僚/改革はする が戦争はしない「フォーラム 4」代表)
- ●立川談四楼 @Dgoutokuji (落語家/作家/書評家)
- ●中沢けい @kei nakazawa (作家)
- ●西谷修(哲学者)
- ●水野誠一 @SeiichiMizuno (元西武百貨店社長/元 参議院議員<新党さきがけ・政調会長>)
- ●山口二郎 @260yamaguchi (市民連合・呼びかけ人/ 法政大学教授) ほか調整中

<政治家> 調整中

【主催】首都圈反原発連合

-Metropolitan Coalition Against Nukes-

◇東京弁護士会 公開学習会◇

同性カップルの子育て ~さまざまな家族のかたち~

https://www.toben.or.jp/know/iinkai/seibyoudou/symposium/post_41.html

子どもを産み、育てるのは異性カップルだけ……でしょうか。同性カップルによる子育ての実態と各種研究について、実際に子育てをしている同性カップルと専門家にお伺いした上で、それを取り巻く法的な現状と問題点について、パネルディスカッションを通じて

考えます。

【日時】3月9日(月)18:00~20:00

【会場】弁護士会会館5階502会議室

千代田区霞が関 1-1-3

地下鉄丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」 B1-b 出口直結

【内容】

基調報告 本多広高さん

(東京弁護士会 性の平等に関する委員会委員) パネルディスカッション

パネリスト 有田啓子さん

(立命館大学生存学研究センター客員研究員)

小野 春さん (にじいろかぞく代表)

金谷勇歩さん

コーディネーター 松永成高さん

(東京弁護士会 性の平等に関する委員会委員)

質疑応答

【事前申込不要】どなたでもご参加いただけます

【参加費】無料 *定員 120 人

【主催】東京弁護士会

【**問合せ**】人権課 TEL 03-3581-2205

◇埼玉いのちの電話◇

第 25 回チャリティ映画会 スウェーデン映画「幸せなひとりぼっち」

http://saitama-id.or.jp/news/news.html

【日時】2020年3月15日(日)(開場は各30分前)

10:30~ 吹き替え 14:00~ 日本語字幕

公式ホームページ → http://hitori-movie.com/

*午前の部は視覚障がい者の方々に、バリアフリー活弁士・檀鼓太郎さんによる音声ガイドを実施

(希望者は上映中に携帯ラジオの FM で聴けます)

午後の部終了後、映画コメンテーターでスウェー

デン人の LiLiCo さんによるアフタートーク

【会場】大宮ソニックシティ 小ホール

https://www.sonic-city.or.jp/?page_id=178

*会場ロビーにてバザーを開催! 10:00~14:00

【協力券】1,000円(小学生以下無料)

【問合せ】埼玉いのちの電話 事務局

TEL 048-645-4322 FAX 048-645-4355

(月~金~10:00~17:00)

【主催】埼玉いのちの電話後援会

【後援】埼玉県、さいたま市、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県社会福祉協議会、さいたま市社会福祉協議会、埼玉県 PTA 連合会、さいたま市 PTA 連合会、さいたま市 PTA 協議会、スウェーデン大使館

◇日米地位協定問題 3.17 シンポジウム◇

http://sogakari.com/?page_id=67

【日時】3月17日(火)14:00~17:00

【会場】衆議院第二議員会館・多目的会議室

【登壇者】前泊博盛さん(沖縄国際大学教授)/ 吉田敏浩さん(ジャーナリスト)/寺崎昭義さん (弁護士)/高野孟さん(ジャーナリスト)

【資料代】500円

【主催】戦争させない・9条壊すな!

総がかり行動実行委員会

◇芸術と憲法を考える連続講座◇

(第27回)

歌とお話でつづる組曲「日本国憲法」

https://www.peace-geidai.com/

【日時】2020年3月27日(金)18:30~21:00

作曲家の故・林光の企画で、吉川和夫、萩京子も共同作曲として参加したカンタータ『組曲 日本国憲法』 (1983年)を、当時、藝大入学前の浪人生だった寺嶋陸也は、俳優座の客席で聴いている。あれから憲法をめぐる状況は一変した。

今回、「緋国民楽派」としてともに活動する吉川、萩、 寺嶋3人の協力で、増補新版・組曲『日本国憲法』が 私たちの講座に登場する。面白くてためになる伊藤千 尋さんのお話を散りばめ、世界の民主主義の歴史のな かに日本国憲法を位置づける、新しい組曲が誕生する。

芸術と憲法を考えるアンサンブル9

歌:赤坂有紀、麻山皓太、雨宮昌子、泉篤史、大塚雅仁、

岡原真弓、沖まどか、尾崎菜香子、熊谷みさと、佐藤 敏之、白石静香、杉野成、鈴木あかね、鈴木裕加、竹 内一樹、藤井あや、堀津誠、山本信夫

クラリネット: 草刈麻紀 ヴァイオリン: 早稲田桜子 イラスト: 瀬辺茂

萩京子(作曲と指揮) 寺嶋陸也(作曲とピアノ) 吉川和夫(作曲) 伊藤千尋(お話)

【会場】東京藝術大学上野キャンパス音楽学部

5 号館 1 階 109 教室 (台東区上野公園 12-8)

【申込】申込不要。入場無料

※藝大生と一般市民のための講座です。

*17:30 より会場教室前にて入場整理券を配布します (先着 300 名様)。係員の誘導に従いご入場ください。

【問合先】kenpou.geidai@gmail.com (川嶋)

【主催】東京藝術大学音楽学部楽理科

【後援】日本ペンクラブ

【共催】自由と平和のための東京藝術大学有志の会

◇日本弁護士連合会◇

シンポジウム「日本の空と日米地位協定」

【日時】3月28日 (土) 13:30~16:30 13:00 開場 【会場】弁護士会館2階 クレオBC

東京都千代田区霞ヶ関1丁目1番3号

- ○弁護士会館への行きかた
- * 地下鉄丸ノ内線・日比谷線・千代田線・霞ヶ関駅 (B1-b 出口) 会場直結
- * 地下鉄有楽町線桜田門駅(5番出口)から徒歩8分
- * 地下鉄日比谷線・千代田線・都営三田線日比谷駅 (A14、A10 出口) から徒歩 10 分
- *車いすをご利用の方は、地下鉄丸ノ内線・日比谷線・千代田線・霞ヶ関駅の Al 出口にあるエレベーターで地上に上がり、弁護士会館 1 階のエントランスからお入りください。

【事前申込不要】参加費無料

【プログラム】

第1部 基調講演 吉田敏浩氏 (ジャーナリスト) 「日本の空の主権を制約する米軍空域」 【プロフィール】1957年、大分県生まれ。『森の回廊』(NHK出版)で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。最近では、「『日米合同委員会』の研究」(創元社)で日本ジャーナリスト会議賞(JCJ賞)を受けたほか、『横空田域』(角川新書)を著し、「サンデー毎日」で日米合同委員会の闇(空の植民地化)を取り上げるなど、日米地位協定、同密約問題、日米合同委員会の反憲法的存在等に精通したジャーナリストである。

第2部 パネルディスカッション

沖縄・本土周辺の米軍の訓練空域の設定・使用状況、 横田空域や岩国空域における民間機の飛行制限、低空 飛行訓練や対地攻撃訓練の危険性、オスプレイの沖 縄・横田等での飛行実態と危険性、航空機騒音被害や 航空機事故の実態・問題状況など、それぞれの分野に 詳しいパネリストによる討議を受けて、「日本の空」 をめぐる日米地位協定の緊要な課題を浮き彫りにし、 あるべき対策についての問題提起とします。

- ·福本道夫氏(第 9 次横田基地公害訴訟原告団長)
- ・山口宏弥氏(元日本航空・機長)
- ・頼和太郎氏 (「リムピース」編集長)
- 沖縄県職員

リムピース:ウエブサイト「追跡!在日米軍」を運営する市民団体で、米軍や基地の動向・活動実態を具体的・専門的に把握し、広く情報提供をしている。2012年にはいち早く『オスプレイ配備の危険性』(共著)を出版し、警鐘を鳴らした。

【開会にあたって】

2020年は在日米軍への基地の提供や米軍、米兵・軍 属や家族らの日本における地位を定めた日米地位協 定が定められてから 60年を迎えます。

日米地位協定は、占領軍としての米軍の特権を認めた行政協定(1952年)の多くを引き継ぎ、その下で、沖縄に象徴されるように、米軍機の爆音被害・墜落事故、米兵等による凶悪事件等が繰り返され、さらに辺野古新基地建設など、数々の重大な問題をもたらしています。その中で、首都圏を蔽う「横田空域」をはじめ、広大な米軍訓練空域、低空飛行訓練ルートなど、法的根拠も疑わしいまま、日本の空の多くが米軍の占

有・使用に委ねられ、空の主権が大きく損なわれてい ます。

日弁連は 2019 年 5 月「日米地位協定を検証する! ~ドイツ・イタリアと較比して~」と題するシンポジウムを実施し、日米地位協定の内容や運用の問題点を徹底的に議論しました。

今回は日米地位協定とそれを支える政府間密約等により、日本の空の主権が著しく制約を受けていることを主題として議論し、日本の空の主権を回復し、日本の空の安全を確保することにより、国民生活の安心・安全を図るためにどのような方策があるのか、皆様とともに探りたいと思います。

【問合せ】日本弁護士連合会人権第一課

TEL 03-3580-9815

【共催】関東弁護士連合会、東京弁護士会、

第一東京弁護士会、第二東京弁護士会

◇埼玉いのちの電話・公開講演会◇

人生の道は困難ばかり

http://saitama-id.or.jp/news/news.html

【日時】2020年4月18日(土)14:00

(開場は30分前)

【講師】池上 彰 氏 (ジャーナリスト)

【会場】大宮ソニックシティ 小ホール

https://www.sonic-city.or.jp/?page_id=178

*手話通訳がつきます

【参加費】無料 *要予約

【申込・問合せ】埼玉いのちの電話 事務局

TEL 048-645-4322 FAX 048-645-4355

(月~金 10:00~17:00)

【主催】埼玉いのちの電話後援会

【後援】埼玉県、埼玉県教育委員会、埼玉県PTA連合会、埼玉県社会福祉協議会、さいたま市、さいたま市社会福祉協議会、さいたま市教育委員会、さいたま市PTA協議会

◆報告・感想◆

◇1 月例会◇

暮らしネット・えんの 30 年 高齢者・障がい者福祉の 30 年 『**障がい者の自立・高齢者の自立**』

【日時】2020年1月18日(土) 14:00~16:30

【講師】小島美里 さん

(NPO 法人暮らしネット・えん代表理事)

【略歴】教育、福祉、原発、平和、消費者問題などの市民運動に携わり、1984年から新座市議会議員(無党派)3期。全身性障がい者の介助ボランティアグループからスタートし、堀ノ内病院の在宅介護部門代表を経て2003年NP0法人暮らしネット・えんを設立。

現在、居宅介護支援(特定相談支援)、訪問介護(居宅介護)、認知症通所介護、認知症グループホーム、小規模多機能型介護、配食サービス、高齢者生活共同住宅を運営。だれでも食堂、認知症カフェ、家族介護者教室、ケアマネ・介護職員のための認知症介護講座等を定期的に開催。介護支援専門員、認知症介護指導者。

http://npoenn.com/

【主な著書】共著『おかしいよ!介護保険』現代書館、介護情報誌『シニア・コミュニティ』に「小島美里と日本の介護を考える」連載中。

$\Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow$

1月18日、南岸低気圧とやらの影響で、みぞれまじりの冷たい雨の一日となった。地下鉄で会場に向かいながら、「センター試験の日ってこういう天気が多いな」などと思いながら、数年前のセンター試験の日には、「利用者さんの急変で救急車に乗っていたな。」などと思い出しながら、雑司ヶ谷に向かった。

障がい者、高齢者のケアの話。私自身の専門分野であるので共感する部分が多いのだろうけれど、最近の介護業界の閉塞感? モヤモヤ感? 制度のことを考えると、さだまさしさんの風に立つライオンの…… 「僕たちの国は残念だけれど、何か大切なところで道を間違えたようですね。」のフレーズがループする。小

島さんの話を聞いたら、「すこ~し気分があがるかな ぁ。」と思い参加した。

障がい者の自立・高齢者の自立について考える会。 講師の小島美里さんは「30 年前、お二人の全身性障がい者と出会い、ボランティアから専門職ケアに発展し、仲間を増やし繋がりながら、今に続いている。介護保険がスタートした時には、介護の社会化、契約により、選択できるサービス利用、期待で仲間と喜んだ。」とのこと。介護保険サービス 20 年のナラティブ。同じ対象者をケアしたわけではないのだけれど、お話の一つひとつは、私の頭の中で映像化され、心にささりました。本日のテーマである自立。

小島さんに「あなたは、自立とは何だと思いますか?」と問われた時、私の頭に浮かんだのは、ALS(筋萎縮性側索硬化症)でTLS(Totally Locked-in State: 完全な閉じこめ状態)の利用者さんとケアスタッフの関わりでした。リアルに、私の周りで定期的に起きている悩みだ。

若い、(若くなくても?かもしれないが) 進行性難病 を患う方のケアに携わる時、大抵のケアスタッフは、 複数回、打ちのめされる。資格取得の過程で学んだ"ケアとは?"の問いを突き付けられる。

利用者さんに関わるなかで昇華できればよいのだけれど。なかなか難しい。

利用者さんが望む、"好いあんばいの範囲" (100%満足のケアはないので) にケアを治めることの難しさ。 向き合い方。倫理観。導かれる答えに正解はなく、利用者さんと同じ時を過ごす。その経過や経験からしか生まれない何かなのだけれど、今が辛くて苦しみいっぱいになっているケアスタッフにどう伝えたら、伝わるのかをず~っと考えている。そんな、今の私に投げかけられた質問が「あなたは、自立とは何だと思いますか?」でした。「私が考える自立とは、"ご本人に意識があり、外からの情報を受けて思考して何らかの意思を発する意欲があるのであれば、それは、その人なりの自立である。」と答えたのでした。答えてから、今日のこの会の場での答えは、「これでは違う。」と思ったけれど、「まぁ言っちゃったしね。ちょっと反省しています。」

小島さんがおっしゃるように、「介護保険の理念の 根幹にある自立の概念に大きな隔たりがあるまま、高 齢者の自立は、介護予防を強化し、要介護度の改善に 焦点が当てられ、障がい者福祉の自立は、自己決定と 自己責任による独り立ちに焦点が当てられ、この隔た りを埋めない限り、制度の統合は、困難。」全くその通 りで強く同意する。

平成元年、当時大学病院で勤務していた私は、介護福祉士という専門職の養成が始まり、「暮らしを支える」と目をキラキラさせて学んでいた福祉科の学生さんと「あの子たちは、私がどうしたいか?を一緒に考え工夫してくれる。」と実習生を楽しみに待っていた入院中の患者さん。この関係に魅力を感じ、介護の道を志しました。

予防、悪化防止と、失われたことを取戻そうと頑張らせることに関わるよりも残った生活機能に目を向けて、人生を楽しめることを探り、ただ安心して居る場をつくるケアをしたい。そう関われれば、利用者さんたちは、自身で元気を取り戻していく。その力を有していると考えている。

今回の会に参加し、何事も諦めちゃいけない。その ためにできることを考えて行動していこうと思った。 小島さん。一緒に会に参加くださった皆様。ありが とうございました。これからもよろしくお願いします。

(文 大林初実)

$\diamondsuit \star \star \diamondsuit$

障害者と高齢者の自立~理想と現実の狭間で~

「自立とは何でしょうか? では、目があったあなた!」

小島美里先生から最初に指された私は、「精神的に 豊かで気持ちの良い暮らしができることだと思いま す。」

こう答えると、「素晴らしい!」と言われてしまった。 講師泣かせのいきなり正解!?

理想的な流れは、次のような展開でしょう。「自立とは、他への従属から離れて独り立ちすること。他からの支配や助力を受けずに存在することです。」「なるほど。では、障害者は自立してないということでしょうか?」「.....」「ではここで、脳性麻痺の障

害を持つ小児科医の熊谷晋一郎さんの言葉をご紹介 します。|

『健常者は何にも頼らずに自立していて、障害者はいろいろなものに頼らないと生きていけない人だと勘違いされている。けれども真実は逆で、健常者はさまざまなものに依存できていて、障害者は限られたものにしか依存できていない。だから、自立を目指すなら、むしろ依存先を増やさないといけない。』

これには盲点をつかれました。たしかに私は、『世の中ほとんどのものが健常者向けにデザインされていて、その便利さに依存していることを忘れている』わけで、『実は膨大なものに依存している』のです。一方、『障害者の多くは、親か施設しか頼るものがなく、依存先が集中している状態』だというわけです。

小島先生が、30年程前は車イスの方が駅の階段を上るのに、その辺りにいた人達が一緒にかかえてくれて上がっていたものだと話されました。そばにいる人が手を差し伸べる、そういう昔のやさしい光景を私もよく覚えています。「何かお手伝いできることはありますか。」この一言が言える自分でありたいと思います。

また小島先生より、介護の原因疾患第1位は認知症だとお聞きしました。認知症になりたくないという恐れや、若年性認知症の方が病気を恥だと捉えている話、認知症予防の話は認知症の方を傷つけること(予防しなかったから、なったというニュアンスがあるため)などを教えていただきました。

できていたことができなくなっていく悲しさ、つらさ、不安、これらに耐えなければならないのは、時に死にたいと強く思うほどの苦悩であると思います。認知症治療の第一人者である長谷川和夫医師が、自分が認知症になってみて、「きれいごとは言えない。」と言っています。(小島先生ご推薦の番組、NHK スペシャル「認知症の第一人者が認知症になった」オンデマンド配信有り。)

https://www.nhk-

ondemand. jp/goods/G2019104633SA000/

そして、その周りの人にも試練が与えられる場合も あるでしょう。小島先生より、介護殺人は週に一件起 こっていて、介護職員の離職の多さもこの 10 年全く 変わっていないとお聞きしました。私も学生時代、障害者の介助ボランティアに自ら飛び込んだのに、やっぱり向いていないと去った苦い過去があります。

しかしながら、病気や介護をマイナスと捉えるのか、 それともそこには必要な学びがあると捉えるのか。つ まりこれは、生きるとは何か、という問につながって くるのだろうと、苦い経験から30年が経った今、そう 考えるようになってまいりました。

「きれいごとは言えない。」それも真実。そして私達に気づきを与えてくれる、あらゆる縁の軌跡(奇跡?) もまた真実であると思います。 (文 "春よこい")

◇憲法カフェ@四ツ谷◇

(第3期 第15回) "日韓関係"どうなるの? Part 3 日韓関係と歴史認識

【日時】2020年1月30日(木) 18:40~21:00【提題者】岸 松江 弁護士(東京法律事務所)森 正樹 さん(ベグライテン世話人)

一昨年(2018年)の10月に韓国大法院(最高裁)が下した判決がきっかけとなって日韓関係は、戦後最悪と言われるほどにこじれた。戦前、日本企業に強制労働させられたと韓国の元徴用工が日本製鉄住金を訴えていた裁判で、日本企業の上告を棄却して日本企業の敗訴が確定した。これを受けて当事者でない安倍総理が、国と国の約束を守れ、とばかりに文在寅政権に圧力をかけた。日本政府も認めている「個人の請求権は条約により消滅していない」にもかかわらず。

さらに政治的案件を「禁じ手」である経済問題で報復した形の半導体製品の輸出規制で追い打ちをかけた。それに対して韓国は、当然反発しWTOへの提訴とGSOMIAの破棄で対応してきた。見かねた米国が中国や北朝鮮を喜ばすだけだと言って割って入ってきて、現在、小康状態にある。

韓国との間では、慰安婦問題はまだ決着していない。 いや日本側は「解決済み」と言っているが、韓国では 現在進行形である。両国民の国民感情は、正反対に「嫌韓」と「反日」で対立している。結果として、両国とも輸出入や旅行客の減少につながり、経済的の大きな損失を招いている。

この問題の根は深い。明治時代の後半、大日本帝国は、「脱亜入欧」「富国強兵」政策を掲げて日清戦争(1894年)や日露戦争(1904年)を起こし、朝鮮を植民地にした時代に遡る。日本人の多くは、この2つの戦争と韓国を35年にわたって植民地支配をした歴史と加害国であった意識が薄れている。反対に韓国では屈辱の歴史として、教科書でしっかり学んで心に刻まれている。歴史的事実をどう認識するか、「歴史認識」の問題である。アジアの留学生の中で、戦争と植民地の問題や日本軍「慰安婦」の問題となると、日本の学生は議論がかみ合わないという。

日韓条約と請求権協定(1965年)で経済協力金を払い、その後も「アジア女性基金」(1996年)で謝罪し補償もし、さらに日韓合意(2015年)で10億ドルを供出してきた。「何べん謝りお金を出せば気が済むのか」という感情が日本人のなかに残るのも理解はできる。しかし、韓国はゆすりやたかりの類で注文を付けてきているわけではない。日本による植民地支配を<不当・不法であったこと>を認めることを一貫して要求しているが、日本政府は不当であったことは認めるが不法には応じていない。まして被害者個人にたいする対応では十分と言い切れない。だから、ことあるごとにぶり返すことになる。両国間の平和条約である「日韓基本条約」でもこの問題は互いに合意に達せず棚上げされている。

慰安婦問題で、こじれていた関係が、国際的な人権 尊重の高まりもあって、「河野談話」(1993年)、「村山 談話」(1995年)、「小渕一金大中パートナー宣言」(1998年)で日本政府も歩み寄りを見せた。「官憲等の加担、 慰安所での強制的な生活など加害の事実の認定と被 害者の名誉と尊厳を傷つけ、心身にわたり癒しがたい 傷を負わせた事実を認めて心からお詫びと反省の気 持ちが表明」し国家間では一定程度融和が進んだ。し かし、軍の関与による慰安婦の強制的な連行を認めな い「歴史修正主義」に立つ安倍政権になって、元慰安 婦などの被害者やその支援団体を逆なでするような 発言が閣僚からも飛び出て、それまでの談話や宣言を 台無しにしてしまった。

親日的と言われた朴槿恵政権でも、慰安婦問題がネックとなって関係改善には至らなかったが、北朝鮮のミサイル実験を背景に、仲たがいしている場合か、と米国の恫喝により無理やり外相間で、悪名高い「不可逆的解決」の文言を含む「合意」がなされたが、非公開文書が明るみに出て韓国では世論の激しい反発にあい、10億円による「癒し基金」は機能しなかった。文在寅政権となって財団は解散としたが日本に再交渉は求めない「新方針」を提起したが、日本政府は傍観するばかりである。韓国人の感情は、日本はお金でご破算にしようとしている、誠意を感じられないというものだ。

韓国はもはや遅れた国ではない。ソニーに代わって サムスンが台頭し、遠くない将来 GDP で日本を追い抜 く時が来るだろう。日本の成長を支えてきた熟年層に はジェラシーを感じている向きも少なくない。感情的 な嫌韓や反日では行くつく先は戦争しかない。お隣同 士はどこも仲が悪い、などと言っている場合ではない。 お互い相手の立場に立って、国民感情を知ること、歴 史に学ぶこと、ノドに刺さっているホネの正体を知る ことから始めなければならない。

(文:提題者・森正樹)

◇施設訪問◇

がん研究会有明病院緩和ケア病棟の 見学会に参加して

昨年(2019年)末の12月21日と新年1月12日の2回にわたり、公益財団法人がん研究会(以降、がん研)有明病院の緩和ケア病棟の見学会に参加させていただいた。見学会のため、1階総合案内の周辺に集まっていると、温厚で優しそうな白衣の中年男性が現れた。同院患者・家族支援センター・地域連携部長の医師・唐渡敦也さん。自ら私たちを迎えに来てくださった。

唐渡先生の案内で 外来の総合案内 (ロビー) から、職員が行き来するエリアに入ると一気に設えが変わり、そこは、昭和の公立学校内を思い出すような空間だった。たまに患者、家族として訪れる病院は、非日常の緊張感を和らげてくれる優しい色調で設えられ、カフェからの好い香り、ふ~っと肩の力が抜けるような優しい空間が広がっているので 扉一枚で一転するスタッフエリアの設えに驚いた。

エレベーターで移動し、通されたフロア。会議室へ向かう途中。唐渡先生は「この下の階に手術室が28室。 手術室の向こうに 病理室があって手術中、直ぐに検査できるようにつながっているのです。(ドアを指して)ここの階段を降りて手術室エリアに医師などスタッフが出入りするのです。」と廊下を移動する間も病院、医療スタッフの日常をイメージできるように案内してくれた。

「この会議室、手術前にカンファレンスをしたりするのですけれど。ここに外科医50人とか、入るのですよ。」とプロジェクター、テーブル、椅子がセッティングされた部屋に入った。

この部屋は、この見学会参加者と事務局合わせて 20 名ちょっとの人数にぴったりという大きさであり、参加者からは、「ここに 50 人? え~っ。ドラマの世界とえらい違いなのだな。」とのつぶやきが聞かれ笑いが起こった。

唐渡先生より、がん情報センターの資料に添って、①がん患者の 2/3 は高齢者であること、②今、がんは必ずしも死に至る病でないのだから、がん患者として生活することをどうサポートするか?がこれからの課題であること、③がん診療連携拠点病院は地域により患者の背景、取巻く課題に差があること、④がんゲノム医療の前途多難さ、⑤がん登録に伴うビッグデータ収集と AI 活用の可能性、⑥実測生存率と相対 5 年生存率の見方と高齢社会の実情、⑦標準治療とは効果が望め不利益が少ないことが検証された最もスタンダードな治療であること、⑧人生会議(ACP)人生の最終段階を自分は、何(誰を)を大切に、何をして過ごしたいか?を家族、親しい人、関係する医療者などと共有しておくことの大切であること、また、⑨いち度、

決めたことも時間経過のなかで気持ち(思い、願い)は、 常に変わる可能性があり繰返し話していくという過程を共有すること、⑩関係性を大切にしていること、 について講義を受けた。

唐渡先生の案内で、2 グループに分かれて、約 30 分かけて緩和ケア病棟を見学させていただいた。

緩和ケア病棟は、院内の一番見晴らしの良い場所に設けられ、治療よりも暮らしの場というイメージを優先した住環境が整えられていた。制度的に、12室は室料33,000円/日。13室は、室料なし。共用部分に家族控室、ミニキッチン、デッキ、リビング、談話室、浴室などが設置され、看護師の配置基準は、急性期病棟の約2倍とのことでした。室料の差は、入院を決める際のハードルとなる場合があるようだ。

今回、緩和ケア病棟見学会に参加して 一番の感想は、「唐渡先生!!ファンになりました。」

「時間を割いて講義と見学アテンドしたのに…… 感想がこれかよ。」と怒られそうなので、もう少しきち んと説明しよう。

「幸い、私は、今、健康体ですから 人生の最終段階を迎えるとは、どういうものであるのか? 想像でしかありません。けれど おそらく自分の心 (大切にしたい人、こと、物、尊厳) に思いを寄せてくれて、自分の暮らし方の支障となる苦痛を和らげてくださる専門家が近くに居てくれる環境というのは、一番の拠り所となる存在だろう」と思えたからだ。

ここ、がん研有明病院患者・家族支援センター・地域連携部は、変わらずに続いていってほしい。

インターネットが普及し、SNS などで早く、手軽に情報が手元に届く時代、正誤判断なく自身が手に入れた情報の中から一方的に「〇〇してほしい。〇〇できるだろう。」と期待してしまう私たち。その結果、実際に関わる人(医療者など)との間でコミュニケーションエラーを起こし、互いが傷ついてしまうような事例も見ているので、今後は、身近な人が病気で悩んでいる時には、ひとりで悩んでググってしまう前に、今回の見学会を通して唐渡先生が語ってくださった「自分自身がどうしたいのか?」「〇〇をするのは、医療的に可能?それは、どんな方法?があるのか」という意向

を共有して、目の前の医療者に伝えられるように支援 したいと思う。

このたびは、お忙しい中、がんを取り巻く今の情報をわかりやすく教えていただき、緩和ケア病棟の見学という貴重な機会をいただいた。唐渡先生はじめ見学会を許諾くださいました患者さん、病院関係者の皆さんに心より感謝申し上げたい。

(文 大林初実)

◇ベグライテン関連講座◇

上智大学コミュニティカレッジ 「人権とケア」 身近にある差別や人権侵害に どう向き合えば良いのか

【テーマ】子どもたちに寄り添う

~いじめ、虐待、少年非行の現場から~

【日 時】2020年1月14日(土)19:10~20:40 【講 師】坪井節子先生

(弁護士、社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事) ☆★☆

2020年1月14日に参加した「人権とケア」の講座は、「子どもたちに寄り添う~いじめ、虐待、少年事件の現場から~」をテーマに、坪井節子弁護士のお話。それぞれの事例について、具体的な子どもとのやりとりを早口でグイグイと展開。まるで、講談を聞いているような。

最初にあげた事例:友達からいじめられ、学校の教員から上から目線で「君にも問題がある」と言われ、親からは「あと少し頑張りなさい。みんな学校に行っているのだから」と言われたその中学3年生は、遺書を書き、致死量80錠の薬を50錠飲んで発見され救急医療へ。そこで初めて親の理解を得られて、「もう一度生きてみようかな」と思った。80錠ではなく50錠にしたのは最後の賭けをしてみたとも。

文科省は「死なないで。死ぬ勇気があるなら、いじめと闘って」と言うけれど、「死ぬのは勇気なんかなくてもできる、そんな言葉はオカシイよ」とも言ってい

た。

坪井さんは、子ども人権救済活動でその子に出会い、何度も面接を重ねたが、どんなアドバイスをしたらよいかわからず辛かった。辞めたかったほどに。でも、その子どもは次のように言ってくれた。

「子どもの話をこんなに一生懸命に聞いてくれる 大人がいるとは思わなかった」「大人に期待すること は、子どもをひとりぼっちにはしないこと。そばにい てくれたらいい」

その子どもの話を聞いた坪井さんは、ようやく、自 分の役割を理解できた。子どもに解決策を示すことは できず、ただ話を聞いただけ、そしてオロオロするだ けだった自分でよいのだと。

そこで坪井さんは大きく変わった!(やることが見 えてきた)

それに合わせて子どもも変わった。「自分はひとり じゃないみたい」と思っているようだと。

こうして、坪井さんは子どもに教えられ、導かれながら、子どもの人権擁護の仕事を続け、さらには、ご自身の家庭での親子関係(子育て)、夫婦関係(女性の人権問題)、さらには職場等での仕事の人間関係(役割分担)についても、「パートナー」という関係であることに気が付き、そのような実践になるよう努力しているのだそうです。

(それらの具体的なお話は略しますが、それも講談 のように引き込まれる内容でした。)

坪井さんがこのような仕事をしてからの約 40 年間 の生活の中で、子どもの権利擁護についてわかったことをレジュメに整理してくれた。

大人は次のように認識し、子どもに伝えていくこと が基本だとのこと。

①生まれてきてよかったね。ありのままのあなたでいい。

②ひとりぼっちじゃないのだよ。

③あなたの人生はあなたにしか歩けない。あなたが 歩いていい。

そして、この①②③は子どもだけのことではなく、 大人にも言えること。自分にも言えること。どうでしょうか? 自分は(あなたは)、生まれてきてよかった と思っているか?と。

なお、坪井さんは、大人たちから見放されて、居場所がない子どもたちにシェルターが必要と考え、シェルターや自立援助ホームを設立しました。カリョン子どもセンターです。シェルターには概ね14歳から19歳の子ども(女子が3/4)がおり、延べ430人が利用。そこから家庭に戻れた人は7人にひとりだそうだ。

* * * *

坪井さんからは、子どもたちにとって厳しい現実が たくさん、紹介されました。

私は、そのお話を伺いながら、それらの背景には、 大人たちが問題を抱え、苦労している厳しい現実もあ るのだろうと思いました。子どもも大人も、生まれて きてよかったと思える社会にしたいものだとつくづ く思います。

つまりは、「人権とケア」が「公共」の問題につながっているのです。まさにベグライテンが取り組んでいることと重なるテーマなんですね。

さらに余談を。

私が坪井さんの語りが、「福島の祈り」(神田香織さん)という講談を聞いているような感覚になったので、「講談のようだ」と感じました。あとでわかったことですが、坪井さんは、「もがれた翼」という演劇(東京弁護士会)の脚本も執筆され、演出もされていたようです。なるほどと納得した次第です。(文 大谷尚子)

☆★★☆

大人の役割は、逃げないこと、その場にいること。 処方箋を示すことではなく、一緒に悩むことなど、40 年近い少年事件とのかかわりから得た言葉を聴かせ ていただきました。

私が特に印象深かったのは、鑑別所などで出会った 少年少女たちとの対等なかかわりを模索するなかで、 ご自身のお子様たちと、家事のことなど夫との関係も 改めて行かれたことです。生きた言葉をお聴きした気 がしました。また、カウンセラーについて全く触れら れなかったことに後で気がつきました。当事者(坪井 さんの場合は弁護士)が子どもとしっかり向き合うこ とが何よりも大切だということかと思います。

また、幼い頃からの子どもの人権無視の積み重ねが非

行であり、厳罰化で対処しようとするのは誤りであるともお話しされていました。いま法制審議会の少年法・刑事法(少年年齢・犯罪者処遇関係)部会では、18,19歳を少年法適用対象外とする方向で審議が続いています。この点について、ネットに幾つか情報が載っていましたのでご紹介します。

◆少年法改正案の提出見送りで調整 適用年齢下げに公明の反対強く

中日新聞 2020 年 1 月 15 日 02 時 00 分

https://www.chunichi.co.jp/s/article/20200114 01002685.html

◆少年法改正 立ち直りに何が必要か 佐賀新聞 2019/12/23

https://www.saga-s.co.jp/articles/-/469154 より詳しくはここをご覧下さい。

◆少年法「改正」に反対します 子どもと法・21 (子どもの育ちと法制度を考える 21 世紀市民の会) 2019 年 11 月 5 日

http://www.kodomo-

hou21.net/_action/giffiles/20191105.pdf

(文 岡山輝明)

<編集後記>

今月は、なぜか「奇跡のリンゴ」の木村秋則さんづいています。まず2月2日は、無肥料自然栽培の普及団体、nicoの10周年祭に行き、木村さんの講演を聴いてきました。9日は、MLでご案内した映画「いただきます」ここは、発酵の楽園」を観ました。なんとこの映画にも木村さんは登場しました。最後は、自宅でビデオ「奇跡のリンゴ」を観てしまいました。

今、腸内細菌が話題になっています。無肥料無農薬の自然農法は土壌菌を増やすことが重要だと理解しました。木村さんによると、最近の野菜は栄養価が低下し、また、未発酵の堆肥は、地球温暖化を招くそうです。

例会や施設訪問の参加者の皆さま、報告や感想をお 寄せください。どうぞよろしくお願いいたします。

(文 森永智子)